

「コンパクトなまちづくりモデル事業」のモデル地区の決定について

県では、少子高齢化の進行に対応し、子育て世代や高齢者が共に安全に安心して暮らせる先進的なモデルコミュニティを目指して、このたび、「コンパクトなまちづくりモデル事業」を創設し、将来の県民の暮らしのモデルとなる市街地の形成に、積極的に取り組む市町を募集しました。

この結果、柳井市、山陽小野田市、光市の3市から応募があり、いずれも本事業の趣旨を踏まえた内容であるため、以下のとおりモデル地区を決定しました。

1 柳井市

事業タイプ：集約拠点タイプ

モデル地区：柳井駅周辺

取組概要：JR柳井駅南側の工場跡地において、再生可能エネルギーを活用し、防災公園を核として、災害時に支援体制がとれる「安全に安心して暮らせるまちづくり」を行うとともに、子育て世代が安心して暮らせるための施設の整備や、高齢者が近隣の医療施設等へ容易に移動するための道路整備や循環バス導入など、「全ての世代に優しいまちづくり」を行い、「三世代交流」の地域コミュニティによる「歩いて暮らすことができ、災害に強いコンパクトなまち」の形成を図る。

2 山陽小野田市

事業タイプ：土地活用タイプ

モデル地区：厚狭駅周辺

取組概要：JR厚狭駅南側の土地区画整理事業完了後の低未利用地において、民間活力を活用し、再生可能エネルギーを有効に活用した「スマートタウン」の実現や、「コーポラティブ方式」を導入し、子育て世代と高齢者が世代を超えて良好なコミュニティの形成する住み良い地域づくりを目指す。

また、駅北側において、山陽総合事務所、公民館、図書館などの公共施設の再編を計画しており、駅の南北で都市機能を分担しつつ、一体性のある都市拠点の形成を図る。

3 光市

事業タイプ：再構築タイプ

モデル地区：岩田駅周辺

取組概要：JR岩田駅東側において、光市役所大和支所、公民館、図書館などの集約化を図り、交流の場を確保するとともに、郊外にある市営住宅を本地区に移転建替を行うことにより、高齢者や子育て世代など、幅広い世代のコミュニティ活動の推進を図る。また、地区内の道路をはじめとする基盤整備を進めることにより、高齢者をはじめ誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。

【参考1】事業の概要

道路等の都市基盤となるインフラ整備、住宅、医療・社会福祉施設、商業金融施設、エネルギー施設、公共交通施設など多様な施設の建設・誘致や、子育て支援、高齢者支援などのソフト施策を導入することにより、将来の県民の暮らしのモデルとなる市街地の形成を、まちづくりの主役である市町を県が支援する形で実現する。

【参考2】事業のタイプ

タイプ	概要
①集約拠点タイプ	工場跡地などの一定の規模以上の遊休地において、まちづくりの計画案や事業手法の検討を行い、それに基づき都市基盤整備を行うとともに、必要な施設の整備・誘導を行うもの。
②土地活用タイプ	区画整理などにより都市基盤が整備されているものの、一定の規模以上の低未利用地を有する地域において、必要な施設の整備・誘導を行うもの。
③再構築タイプ	既成市街地において、公共施設等の再編・統合に伴う市街地再構築の計画を策定し、その計画に基づき施設整備等を行うもの。

【参考3】コーポラティブ方式

住宅建設希望者が集まり、共同で土地取得からの建設行為の全てを行う住宅のことであり、その過程で、居住者相互の理解とコミュニケーションが促され、入居後の良好な近隣関係を築きやすい。

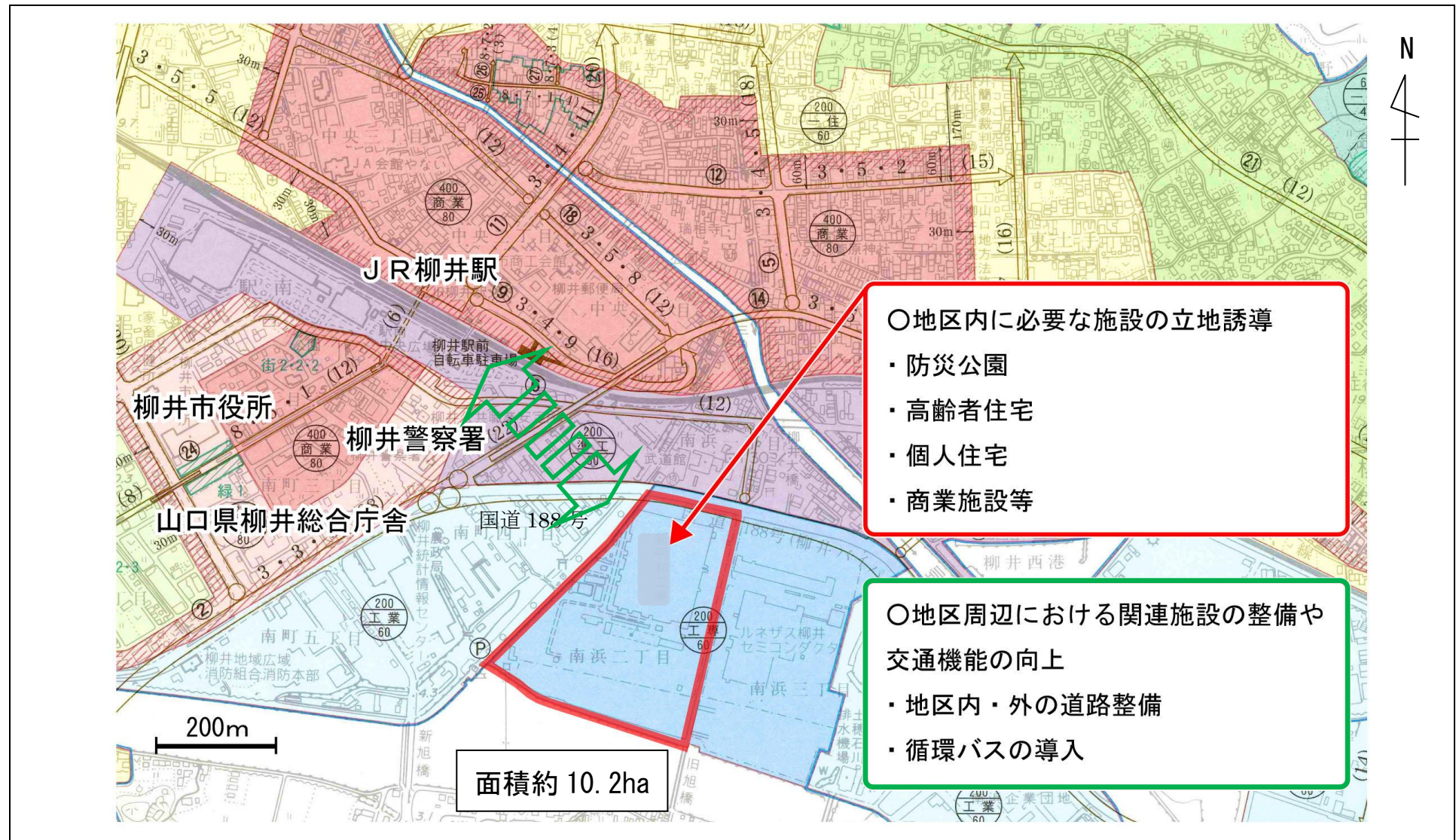
【参考4】「コンパクトなまちづくり講演会」開催概要

開催日	開催場所	講師
8月26日(月)	山陽小野田市 (山陽小野田市文化会館・小ホール)	国土交通省都市局長 川本 正一郎 氏
8月29日(木)	光市 (ホテル松原屋・イベントホール)	国土交通省住宅生産課長 伊藤 明子 氏
9月6日(金)	山口市 (山口南総合センター・ホール)	東京大学特任教授 辻 哲夫 氏

※ 詳細については、後日お知らせします。

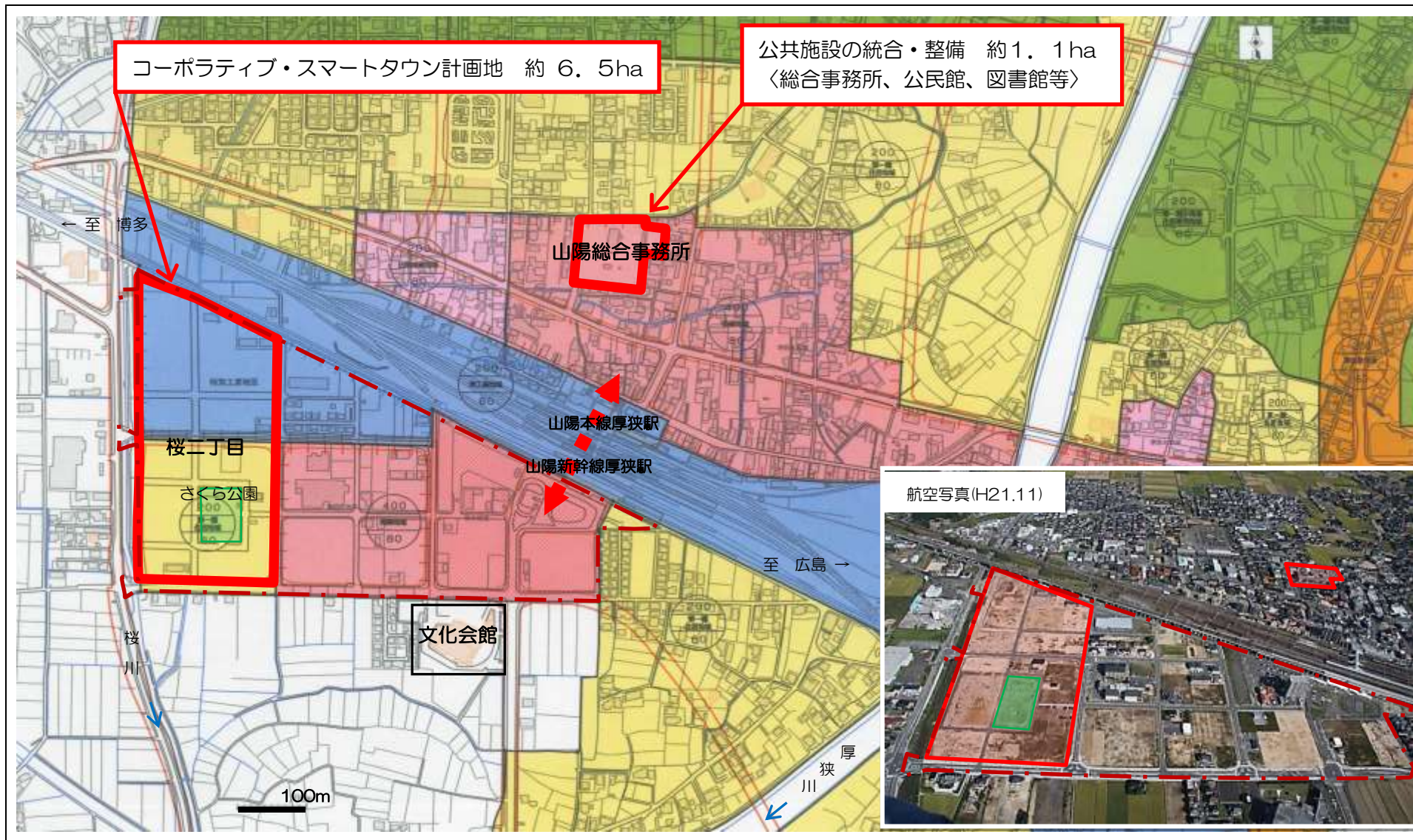
◇モデル地区の概要

柳井市（柳井駅周辺）



◇モデル地区の概要

山陽小野田市（厚狭駅周辺）



光市(岩田駅周辺)

◇モデル地区の概要

- 公共施設の再編・再配置
- 市営溝呂井住宅の建替え
- 地区内道路等の整備

